



田尻町

議会だより

Vol.85

平成22(2010)年
11月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺375番地の1 電話 072-466-5000



秋の 運動会



主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 5 頁
- ★ 意見書 8 頁
- ★ 議員提出議案・第3回定例会議決結果 9 頁
- ★ 議会報告会を開催します 10頁

一般質問

- 東 小夜子 議員
 1. がん対策について
 2. 妊産婦検診について
 3. 国民健康保険料について

- 仁部 順行 議員
 1. 本町も防犯灯のLED化の推進を

- 高木 謙治 議員
 1. 来年度の施策の充実について
 2. 本町での高齢者の所在不明について

- 伊藤 幸子 議員
 1. 田尻町独自の目玉事業は
 2. 田尻歴史館の維持管理について

- 吉開 育子 議員
 1. 町道北りんくう嘉祥寺線未買収地の交渉を求める

- 小川 雄司 議員
 1. 国保料の「府内統一」と国保「広域化」について
 2. 本庁舎にエレベーターの設置を

東 小夜子 議員

問 子宮頸がんの予防ワクチンの公費助成は

答 国の状況をみながら検討します

問 厚生労働省の来年度予算概算要求に、子宮頸がん予防ワクチンの助成事業が盛りこまれました。厚労省の概算要求では、市町村が実施する子宮頸がん予防ワクチンの助成事業などに対し、助成費用の3分の1相当を国が補助する予防対策強化事業として150億円が計上されま

した。3月議会の答弁は国の動向をみてと言われましたが、田尻町では子宮頸がんの予防ワクチン公費助成をどのように考えているのか。

答 厚生労働省が公費助成の方針を示していますが、財源及び制度内容が未定となっていますので、国の健康被害救済措置等状況をみながら検討していきます。

問 国保料の額の算定に用いる資産割は廃止すべきでは

答 廃止する方向で考えています

問 国民健康保険料の計算式に資産割があるのは不公平であり廃止すべきではないか。

答 府内で資産割を賦課している市町村は、平成17年度には府内43団体のうち16団体でありましたが、21年度には8団体、22年度は本町を含め6団体に減少しています。本町でも、資産割を廃止する方向で考えています。



仁部 順行 議員

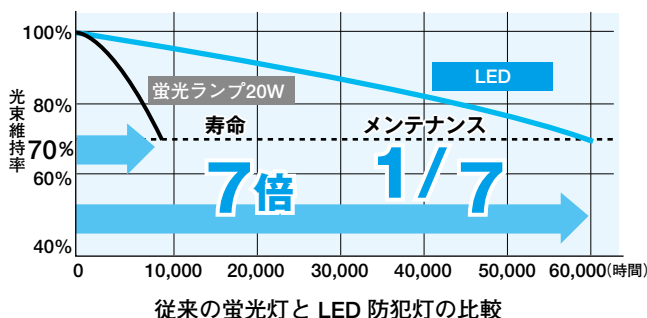
問 防犯灯のLED化の推進を

答 導入に向けて検討する

問 本町では防犯連絡協議会が中心となって、防犯活動に取り組んでいただいております。また、犯罪の抑制に大きな力を発揮しているものとして、防犯灯があると思います。防犯灯は、最近、LEDに取り替えるところが増えてきています。今までの防犯灯（蛍光灯）に比べて、消費電力が少なく、長持ちすることから、電気代や修繕費用の削減になります。このことから、本町も早急

に防犯灯のLED化の取り組みを進めるべきである。

答 LEDの防犯灯については、数多くの自治体で、その効果を期待して導入する事例が出てきております。本町においても、LED防犯灯については注目しているところです。その理由は電気代を安く抑えることができる、長持ちするという点で、電球の交換等、修繕費用の削減にもつながると思います。ただ、LED防犯灯は新製品であり、防犯灯本体の価格が蛍光灯と比べ高いという難点がありますが、地球温暖化の原因であるCO2の削減等、環境面での長所も見受けられることから、防犯灯のLED化については、導入を検討していきたいと考えています。



高木 謙治 議員

問 来年度の施策の充実は

答 全体的なバランスを勘案し検討する

問 本町は行財政改革に取り組んできた結果、平成20年度の実質収支が黒字となり、平成21年度以降も黒字が続く、今後、財政調整基金残高も毎年増加していくと思われる。このような財政状況の中、来年度以降の住民福祉の向上にむけてどのように取り組んでいくのか。

例えば、現在小学校3年生までの医療費が無料となっている乳幼児医療費助成制度の対象年齢を、中学校卒業まで引き上げるとか、無理であれば小学校6年生まで引き上げることができないのか。

また、安心して子育てができるように育児ヘルパー制度の取り入れについてはどうか。

答 乳幼児医療費助成制度の拡充については、平成21年7月より通院・入院ともに小学校3年生の年度末終了時まで引き上げたところであり、施策の全体的なバランスや子育て支援策のバランスを勘案し、拡充の可否や範囲に

ついて検討します。

育児ヘルパー制度は、本町ですでに実施している育児支援家庭訪問事業が、これにあたるかと考えています。

問 本町での高齢者の所在不明は

答 所在不明者はいない

問 最近、高齢者の所在不明問題が話題となっているが、本町にはそのような方はいないのか。

答 高齢者の所在不明問題については、本町には100歳以上の高齢者の方が2人いらっしゃるが、長寿お祝い事業の一環として、年に1回町長が直接訪問し、祝い金または祝い品を手渡しており、所在不明者はいません。



問 田尻町独自の目玉事業は**答** 来年度の予算に上げていく

問 昨年の9月議会において、田尻町の将来のビジョンについて、各担当課に企画立案するように町長は指示されておりましたが、一年たち具体的に進展している事業があるのか。田尻町は幼保一元化をしており小学校、中学校と一貫教育が出来る教育環境にあり、小さな町だからこそ特色のある事業が実現できる町です。中学校には、既にエアコンが各部屋に設置されていますが、小学校にはまだ設置されていません。今年のように30度を越える日が続くと熱中症対策を検討する必要がありますので、目玉事業としてエアコンの設置を考えるべきと思いますが。

答 各種団体からのご意見の中に、次世代を担う子どもたちへの要望が多くあり、現在実施に向けて検討している。エアコンの設置については、教室内の温度が最近非常に高いということもあり、今後検討していきたい。

問 田尻歴史館の維持管理について**答** 住民の皆様には負担をかけないように努力する

問 田尻歴史館(愛らんどハウス)は、大阪府指定有形文化財、近代化産業遺産ということで、田尻町の財産としては自慢すべきものであります。施設の維持管理にはお金がかかるものですが、近隣の方から高木の松の枯れ葉が屋根に落ち、大変困っていると聞いています。現在、松の管理はどのようにしているのか。また、管理が困難ならば、管理しやすい木に替えることはできないか。

答 自然松9本については、剪定というより枝払いを行うのが基本だが、田尻歴史館との調和を考え、枝払いをしていないのが現状であります。今後は職員で清掃を行い、住民の皆様への負担を軽減できるようにしていきます。

**問** 町道北りんくう嘉祥寺線の未買収を解決し、駐車禁止に**答** 駐車禁止になるよう警察と協議を続ける

問 私は昨年12月と今年3月議会の一般質問で、「町道北りんくう嘉祥寺線の迷惑駐車解決のために、道路上にある未買収地の2人の地権者と交渉し買収が必要」と求



めました。町当局は「交渉を行ったが地権者の同意を得られず、今後は、積極的な交渉はしない。啓発と警察との協議で迷惑駐車を解決する。」との答弁でしたが、いっこうに迷惑駐車は解決していません。「こどもの飛び出しなどで危ない、駐車禁止にしてほしい。」という住民の要望を実現するには、未買収地の2人の地権者と交渉し協力を求める事が必要です。また、未買収地が残っている2ヶ所は迂回し道幅が狭くなっており、それを解決するのが公共事業です。住民の安全面を考えて協力を求めています。

答 地権者の方に関しては、十数年前から条件提示や幅員が狭小となっているといった安全面の説明を行っており、その条件は今も変わらない。引き続き、町が提示した条件で合意していただけるよう努力する。今年2月に交渉を行った時も、いい返事はいただけなかったので、今後は地権者の気持ちが変わらないかぎり、この事業は進まなく、町は待っている状態です。今後は駐車禁止の看板を設置していただけるよう警察と協議を続けていく。

小川 雄司 議員

問 国保料の「府内統一」では
値上げになるが、考えは

答 府と市町村間で意志決定された
ものではない

問 今年7月22日に橋下府知事と16の市町村長の代表が国民健康保険料の「府内統一」について合意をし、年内をメドに府がその制度設計をすることになったとの報道がありました。府内統一の目的は府内全体の800億円を超える累積赤字の解消、府内市町村が一般会計からの繰り入れをなくすことが前提です。これでは田尻町でも1世帯あたり年間約2万円もの値上げになってしまうのではないかと。

答 市町村長会の事務局から「協議はされたが、正式な意思決定の手続きを踏んだものではない」と聞いています。保険料については、今の段階ではわかりません。

問 本庁舎にエレベーターの
設置を

答 認識はあり、もう少し検討したい

問 エレベーターの設置基準は、府の福祉のまちづくり条例第7条に定められています。役場は公共施設なので率先して実施しなければなりません。すでに町から設置案が提示されていますので、来年度予算で実施していただきたい。

答 エレベーターの設置は5,000万円～9,000万円の経費が必要です。公共施設としてエレベーター設置の認識は当然もっています。設置場所によって公費がかなり上下するので、もう少し検討させていただきます。



エレベーター設置箇所(案)にあげられている本庁玄関横

委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 伊藤 幸男

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(9月8日開催)

◎大阪広域水道企業団の設置に関する協議の件

(企業団設置に関する協議) 【全会一致で可決】

問 この企業団に参画するメリットは。

答 概ね次の3点が挙げられる。①用水供給料金や事業計画等の重要事項は参画市町村の住民意向を十分確保しながら、全て企業団で決定できる。②用水供給事業と市町村水道事業の連携を拡大し、技術力の確保や双方の効率化を進めることができる。③安定給水に留意しつつ、更なる値下げに向けての積極的な対応を図ることができる。



◎平成22年度田尻町一般会計補正予算(第3号)の件

(1億337万3千円の増額) 【全会一致で可決】

問 財政調整基金*には前年度の黒字額の何%を積み立てることになっているのか。また、基金の総額はいくらかになるのか。

(*財政調整基金…一般家庭における預金に相当)

答 基金への積み立てについては、黒字額の2分の1以上の額と規定されている。今回、前年度黒字額の約50%である1億4,610万円を積み立てることにより、基金の総額は約29億円となる見込みである。

文教厚生常任委員会

委員長 射場 義幸

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(9月10日開催)

◎田尻町手数料条例一部改正の件

(戸籍の電算化に伴う証明書の追加)

【全会一致で可決】

◎平成22年度田尻町一般会計補正予算(第3号)の件

(1億337万3千円の増額) 【全会一致で可決】

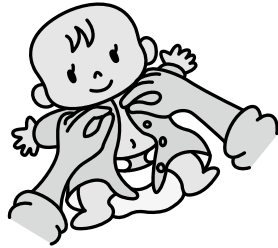
委員会報告

問 安心子ども基金特別対策事業補助金を活用し、小学校の備品としてどのようなものを購入するのか。

答 運動場で使用する放送設備システム一式（マイク、スピーカー等）とテントやイスを購入する予定である。これらを活用し、各種団体の方々に地域のイベントを幅広く実施していただき、子育て支援の活動に反映していただければと考えている。

問 安心子ども基金特別対策事業補助金を活用し、公民館に授乳室やオムツ台等を設置するとの事だが、どこに設置するのか。

答 授乳室は2階料理室前のスペース北側に、オムツ台は1階と3階の男子トイレ及び3階の女子トイレに、赤ちゃん台は1階と3階の男女各トイレに設置する予定である。



◎平成22年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）の件

（5,718万7千円の増額） 【全会一致で可決】

問 前年度に出た5,700万円の黒字を、来年度の国民健康保険料を値下げすることで住民に還元する考えはないのか。

答 前年度は5,700万円の黒字となったが、2年前は実質収支で2,000万円強の赤字であった。このように国保の財政状況は非常に不安定なことから、現段階では国保料の安定を図ることが最重要であると考えている。

◎平成22年度田尻町老人保健特別会計補正予算（第1号）の件

（124万1千円の増額） 【全会一致で可決】

◎平成22年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件

（346万5千円の増額） 【全会一致で可決】

◎平成22年度田尻町介護保険特別会計補正予算（第1号）の件

（693万1千円の増額） 【全会一致で可決】

問 高額医療合算介護サービスとは。

答 年間の医療費と介護サービス利用料の自己負担の合計額が一般の方で56万円を超えている場合に、申請するとその超過した額が戻ってくる制度である。



決算特別委員会

委員長 高木 謙 治

決算特別委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。（9月13、14日開催）

◎平成21年度田尻町一般会計決算認定の件

【賛成8、反対2で可決】

歳入

問 税金の未収額が増えている原因は。

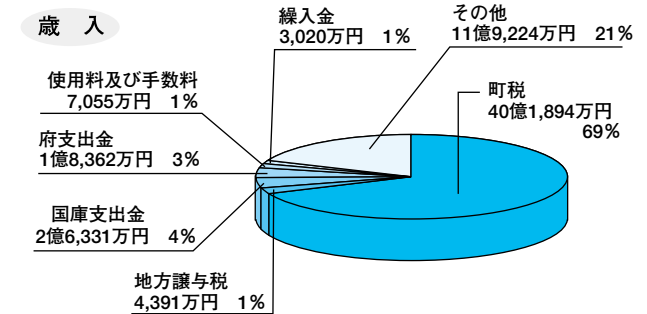
答 昨今の景気状況によるものと認識している。未収分については、書面や個別訪問による催告や財産調査等を引き続き着実に進めていく。

問 学校ICT環境整備事業補助金を使って購入した備品はどのように適正管理されているのか。

答 この補助金で小・中学校で使用するテレビ、パソコンの購入、校内LANの工事等を行ったが、備品については備品台帳に記入し、適切に管理している。

問 関西国際空港利用促進・PR事業支援金345万円の使い道は。

答 関西国際空港の利用促進・PRのために主に広報関連事業に使用している。内容としては、町の広報紙やホームページ等における関西国際空港のPRである。



歳出 総務費

問 平成20年度末に多くの職員が退職したことにより人件費が減少していると思うが、今後の見通しは。

答 退職に伴い職員数が減っていくので今後も定員管理計画に基づき新規採用は行っていくが、全体的には人件費は減っていくと見込んでいる。

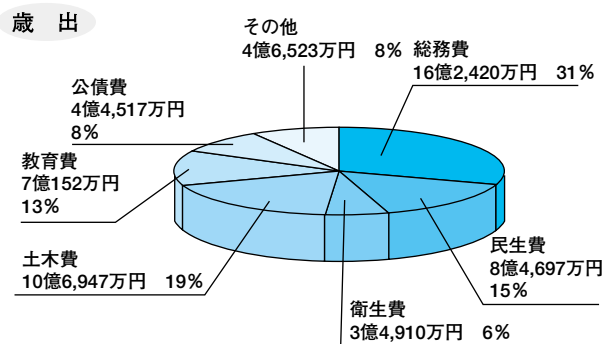
問 地区連合会活動報償の支払先は。また、その使い方について指導等はしているのか。

答 広報配付の協力謝礼として、各地区（吉見、嘉祥寺、りんくう）にそれぞれ支払っている。用途については各地区に一任している。

民生費

問 ふれ愛センター2階にできたキッズ・ルームの利用状況は。

答 昨年12月のプレオープン以来、年度末（平成22年3月31日）現在の会員登録数は171名であったが、徐々に増えてきており、9月7日現在で403名の登録がある。



衛生費

問 新型インフルエンザワクチン接種費助成事業で約67万円支出されているが、何名の方が接種されたのか。

答 この助成事業は低所得者の方と生活保護受給者のみが対象となっており、184名の方に助成を行った。また、予防接種自体は町内7診療所で約1,300人の方が受けられたと聞いている。



労働費

問 就労支援講座の内容と実績はどのようになっているのか。

答 ホームヘルパー2級及び医療事務2級の養成講座を実施した。ホームヘルパー講座は10名の方が受講され、全員資格を取得し、これにより就職された方は9月現在で4名である。医療事務講座は10名の方が受講され、その内5名の方が資格を取得し、就職された方は3月末現在で3名である。

農林水産業費

問 田尻漁港横遊歩道修繕工事の内容は。

答 昨年10月の台風により遊歩道にある防護柵が倒れたため、住民の安全確保の観点から予備費を使い遊歩道の支柱と柵の修理を行った。



商工費

問 町への企業誘致を促進するために今後どのようなことをしていくのか。

答 企業誘致の対象となっている土地は大阪府土地開発公社所有のものであるため、問い合わせ等があれば大阪府に即座につながるといった側面的な協力を行っている。今後も府と連携し、何とか早く土地利用がすすむようやっていきたい。

土木費

問 本町には町営住宅や府営住宅があるが、町内にある住宅のうち公営住宅が占めている割合は。その比率は近隣と比べどうなっているのか。

答 本町の公営住宅比率は12.7%である。熊取町は3.6%、岬町は4.5%であるので、泉南地域の町では高い割合となっている。

消防費

問 今後は女性の消防団員も入団していただきたいとの事であったが、その後の状況は。また、女性団員が加入された場合、男性団員と全く同じ活動をするのか。

答 広報で団員募集を行い、女性も何名かの希望があったが、一定の人数が集まった時点で入団していただくよう考えている。また、活動については、基本的には防火活動になるが、他の地域では消防の啓発や避難誘導時の手助け等で女性の方々が力を発揮されていると聞くので、その点も含め調整している。



教育費

問 最近は地産地消ということがよく言われているが、学校給食にも地元の食材は取り入れられているのか。

答 学校給食には泉州産の玉ねぎ、水なす、ブロッコリーを農協から購入し、地産地消として取り入れている。ただし、量的には季節野菜のみであるため、年に数回程度となっている。

反対討論

乳幼児等医療費の対象年齢の引き上げや妊産婦検診の拡充、学童保育の充実は評価できるが、広域保育の解消や幼稚園3歳児保育の復活、中学校総合運動場の防球ネットの整備など町民の要望が盛り込まれていない。

◎平成21年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)決算認定の件 【全会一致で可決】

問 特定健診の受診率は。

答 平成21年度の受診者数は356人で、国保被保険者の約26.3%にあたる。平成20年度の受診率は約25.2%で

委員会報告・意見書

あったため、若干上昇しているものの、医療費抑制のためには受診率の向上が不可欠であると認識しており、今後も受診率向上にむけて取り組んでいきたい。



◎平成21年度田尻町老人保健特別会計決算認定の件

【全会一致で可決】

◎平成21年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件

【賛成8、反対2で可決】

問 本町では保険料滞納者に対して短期被保険者証や資格証明書は発行しているのか。

答 資格証明書は交付していないが、短期証は4件交付している。これは保険料の納付勧奨等を行っても未納が続く被保険者に対し、広域連合統一のルールのもと交付されている。

反対討論 厚生労働大臣が「短期被保険者証と資格証明書の発行は慎重に期す」と国会で繰り返し発言している中で、本町が短期証を発行していることについて、対応の改善を求める。



◎平成21年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件

【賛成8、反対2で可決】

問 2年連続で介護保険特別会計は黒字となっているが、この黒字分を住民に還元する考えはないのか。

答 現在の介護保険料は、第4次介護保険事業計画に基づき3年間にかかる給付費の見込額を元に算定している

ため、単年度でなく3年間をトータルして考えていただきたい。

反対討論 前年度決算で黒字となった分は、極力被保険者へ還元するよう求める。

◎平成21年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件

【賛成8、反対2で可決】

問 一般会計からの繰り入れ等によって、今後も下水道使用料を値上げせずに済むのでは。

答 下水道会計は昨年度末で57億円の起債*残高があり、一般会計からの基準外繰り入れにより赤字補てんして貰っている状況であるため、今後使用料の値上げに関する審議をお願いする必要があると考えている。
(*起債…借金)



反対討論 下水道使用料は平成21年度に15%の値上げとなったが、一般会計の豊かな財政を下水道にも活かし、府下の平均以下に抑えられている。今後も現行の下水道使用料を維持していくよう求める。

◎平成21年度田尻町水道事業会計決算認定の件

【全会一致で可決】

問 約7,700万円の利益剰余金は今後こういったことに使う予定なのか。

答 将来、老朽管の布設替えや老朽施設の改修に使用するために積み立てておく予定である。それを取り崩して水道料金を値下げするという事は、現在のところ考えていない。

意見書

◎「戦没者等の妻に対する特別給付金支給法」の時効撤廃を求める意見書

全会一致で可決

趣旨 戦没者等の妻に対する特別給付金支給法の時効撤廃のための立法措置を早期に講じること。【一部抜粋】

提出者：高木 謙治 賛成者：射場 義幸

提出先：内閣総理大臣／総務大臣／財務大臣／厚生労働大臣／衆議院議長／参議院議長

◎大阪・泉南アスベスト国家賠償請求訴訟の一日も早い解決の決断を国に求める意見書

全会一致で可決

趣旨 国がいたずらに大阪・泉南アスベスト国家賠償請求訴訟の解決を遅らせることなく、早期に解決を決断するよう強く求める。【一部抜粋】

提出者：小川 雄司 賛成者：射場 義幸

提出先：内閣総理大臣／環境大臣／厚生労働大臣／衆議院議長／参議院議長

議員提出議案

◎田尻町議会議員定数条例一部改正の件

賛成 2：反対 8 で否決

提出理由

人口増、詳細・活発な議会審議、府からの権限移譲及び豊かな町財政を活かしたまちづくりに対応するため、議員定数を12人から14人に増員する。【一部抜粋】

提出者：小川 雄司 賛成者：吉開 育子

◎田尻町議会議員定数条例一部改正の件

賛成 7：反対 3 で可決

提出理由

今期約2年半の間、欠員1人の11人で活動してきた中で、町民要望の吸い上げといった点で支障はなかったと考えている。また、平成20年2月開催の議会報告会において寄せられた定数削減等の要望を真摯に受け止める必要があることから、議員定数を12名から10名に削減する。【一部抜粋】

提出者：仁部 順行／中川 達夫／伊藤 幸子／明貝 一平／東 小夜子／射場 義幸／高木 謙治
齊藤 義春

第3回 定例会議決結果

平成22年9月6日開会
平成22年9月27日閉会

件 名	結 果
・平成22年度田尻町一般会計補正予算（第2号）の専決処分の件	全会一致で承認
・田尻町選挙管理委員会委員並びに同補充員の選挙の件 ・委員に 堀江 利文氏 堺谷 寛氏 馬野 勤吾氏 大門 敏人氏 ・補充員に 日下 清明氏 上之山 和代氏 明貝 弥生氏 青木 賢治氏	全会一致で可決
・公平委員会委員を選任するにつき同意を求める件 ・委員に 呑海 吉郎氏	全会一致で可決
・固定資産評価審査委員会委員を選任するにつき同意を求める件 ・委員に 今井 規平氏	全会一致で可決
・教育委員会委員を任命するにつき同意を求める件 ・委員に 濱田 智美氏	全会一致で可決
・田尻町手数料条例一部改正の件	全会一致で可決
・大阪広域水道企業団の設置に関する協議の件	全会一致で可決
・平成22年度田尻町一般会計補正予算（第3号）の件	全会一致で可決
・平成22年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）の件	全会一致で可決
・平成22年度田尻町老人保健特別会計補正予算（第1号）の件	全会一致で可決
・平成22年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件	全会一致で可決
・平成22年度田尻町介護保険特別会計補正予算（第1号）の件	全会一致で可決
・平成21年度田尻町一般会計決算認定の件	賛成8：反対2で可決
・平成21年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定の件	全会一致で可決
・平成21年度田尻町老人保健特別会計決算認定の件	全会一致で可決
・平成21年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件	賛成8：反対2で可決
・平成21年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件	賛成8：反対2で可決
・平成21年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件	賛成8：反対2で可決
・平成21年度田尻町水道事業会計決算認定の件	全会一致で可決
・平成21年度決算に基づく財政健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告の件	全会一致で可決
・田尻町議会議員定数条例一部改正の件（14人）	賛成2：反対8で否決
・田尻町議会議員定数条例一部改正の件（10人）	賛成7：反対3で可決
・「戦没者等の妻に対する特別給付金支給法」の時効撤廃を求める意見書	全会一致で可決
・大阪・泉南アスベスト国家賠償請求訴訟の一日も早い解決の決断を国に求める意見書	全会一致で可決

議会報告会を開催します



日時 11月26日(金) 午後7時より

場所 ふれ愛センター4階 研修室

一部 9月議会の報告

二部 議会並びに町政に対するご意見等(例：まちづくりについての提案)をお伺いします。

お問い合わせ 議会事務局 電話466-5000(直通) FAX 466-5028

議会のうごき

8月

- 4日 大阪府町村議長会議員セミナー
議員懇談会
議員総会
- 9日 大阪府町村議長会定例総会
- 20日 例月出納検査
- 24日 議会運営委員会
- 25日～26日
第72回町村議会広報研修会

9月

- 6日 定例会(開会日)
- 7日 定例会(2日目)
- 8日 総務建設常任委員会
- 10日 文教厚生常任委員会
- 13日 決算特別委員会
- 14日 決算特別委員会(2日目)
- 22日 例月出納検査
- 27日 定例会(閉会日)

10月

- 1日 2市1町の議会代表者と関西国際空港(株)との意見交換会
- 6日 広報委員会
- 13日 広報委員会
議会報告打ち合わせ会議
- 14日 和歌山県日高郡町議会協議会視察来町
(議会活性化の取り組みについて)
- 15日 例月出納検査
- 22日 山口県周防大島町議会視察来町
(田尻海洋交流センターの活動について)
- 26日～27日
文教厚生常任委員会視察
- 28日 南部地区議長会議員セミナー
- 29日 泉佐野市田尻町清掃施設組合議会



和歌山県日高郡町議会協議会



山口県周防大島町議会



平成23年4月の 選挙から適用!

議員定数を12名から10名に削減します

田尻議会の 千ヨツト教えて



議員提出議案ってナニ??



議員は議会の議決事項に関し、自ら議案を提出できる権限を持っています。これを「発案権」または「提出権」といいます。ただし、議案の中には予算案など議員に提出権のない事項もあります。

議案を提出するにあたっては、団体意思を決定するもの(条例)の場合は議員定数の12分の1以上、機関意思を決定するもの(意見書等)の場合は2人以上の賛成者が必要となります。

